

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	9	事業名	国際交流協会支援事業		担当課		たつせがある課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-10-2 国際交流協会支援事業			
			（大事業名） 国際化事業		決算書ページ		71 ~ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち		事業開始の背景	平成4年度にベルギー王国ワテロー市との姉妹都市友好提携締結による青少年訪問団等を通じての交流や、平成6年度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付している。 近年は、在住外国人数の増加により、多文化共生の必要性が高まってきたため、令和2年度に長久手市多文化共生プランを策定し、多文化共生を推進する施策に取り組んでいる。			
		政策	2	「やってみたい」が実現できる仕組みづくり						
		施策	(3)	誰もが活躍できる地域づくり					市民・民間事業者との連携協働の可能性	
	その他	開始年度								
		終了予定年度		<input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未定						
		根拠法令等		無し						
	関連計画		長久手市多文化共生推進プラン、長久手市国際交流協会運営事業費補助金交付要綱							
	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
	①事業概要 （どんな取組を行うのか）			②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）			④最終成果 （大事業の将来像）	
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数： 約60,000 【事業内容】 多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行います。			【アクションプラン指標】 国際交流協会が実施する事業への参加者数 【その他の指標】		国際交流や多文化共生について、関心や知識を深める (成果指標名) 国際交流協会事業参加者総数			大 事 業 共 通 国際交流や多文化共生への理解が生まれ、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになる	

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン事業】 国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数	人	基準値	2,850人	見込	6,300	6,400	6,500	6,600	6,700
				目標値	3,000人	実績	7,830				
	2	【その他指標】 運営に携わる市民の人数	人	基準値		見込	1,950	2,000	2,050	2,100	2,150
				目標値		実績					
	3	【その他指標】 国際交流協会実施事業数	事業	基準値		見込	22	24	24	26	26
				目標値		実績					
	4			基準値		見込					
				目標値		実績					
事業開始からの経緯											
国際交流協会事務局が独立し、外国人相談窓口の場づくりとしてリニモテラス公益施設でのイベントや事務局窓口での相談対応が充実している。											
R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
国際交流協会が多文化共生推進事業として、日本語教室、日本語ボランティアスキルアップ講座、防災サバイバルフェス、日本語教育支援、N I A 集いの広場、ながくて留学生交流会、外国人相談を実施した。 外国人の非常時に備える情報提供として、防災サバイバルフェスの開催及び愛知県立芸術大学の学生との協力で「NAGAKUTEMAP」を作成した。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		国際交流協会事業参加者総数		人	R1 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R7 年度		R9 年度	
					4,706		10,040		10,767		11,100		11,500	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					令和5年度の総数を基準に1年間で200人ずつ増加すると想定する						
	評価の理由、分析													
	ベルギーワーターローフレンドフェスや防災サバイバルフェスの参加者数が増加していることから、市民の国際交流や多文化共生への関心や知識を広げられている。また、日本語教室等に携わる会員ボランティア数が増加しており、市内で活躍する人の育成が進んでいる。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		国際交流協会への支援を継続すると共に多文化共生社会事業を推進することで、第2次長久手市多文化共生推進プランの事業を展開する。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

